

地質学概論

2010年度期末定期試験問題

問 野外へ出て実際の地層や岩石にふれることに主眼をおいた授業だったが、心残りとなるのは降雪期に入ってこれができなかったことである。授業の最終回でもらったコメントにも「もっと外へ行きたかった」というのが多数あった。

地質学がどのようなものなのか、授業をとっておぼろげながらも理解してもらえたものと思う。では、その理解に立脚したうえで「雪が積もったキャンパスで実施可能な野外実習」を考えてもらいたい。遊びの要素を取り入れてもかまわないがおおよそ30%以下にとどめること。解答は以下の枠の中に説明とイラストとで具体的に記入すること。

学籍番号:

氏名: